

名古屋大学 大学院国際開発研究科 准教授 公募要領

| | | | |
|---|-----------|---|--|
| 1 | 募集件名 | 准教授の公募 | |
| 2 | 所属 | 大学院国際開発研究科 国際開発協力専攻 | |
| 3 | 募集内容 | [職務内容（業務内容、担当科目等）] 職務の内容は、次に掲げるものとする。 1) 貧困と社会政策に関する講義科目最低2科目（英語） 2) 演習Ⅰ・Ⅱ（英語） 3) 「国際開発入門」及び「日本の開発経験」の一部（英語） 4) 全学教育科目「国際開発学」「国際学」又は「基礎セミナー」（日本語） 5) 修士論文及び博士論文の研究指導 6) 国際開発海外実地研修及び国際開発国内実地研修 7) 国際開発研究科等における管理運営業務 8) その他国際開発研究科において必要と認められる業務 | |
| | | [勤務地] 愛知県名古屋市千種区 | |
| | | [募集人員] 1名 | |
| | | [着任時期] 2021年 10月 1日 | |
| 4 | 募集研究分野 | 大分類 | 社会科学 |
| | | 小分類 | 地域研究関連（80010）、経済政策関連（07040）、社会学関連（08010） |
| 5 | 勤務形態 | 常勤 専任教員 | |
| 6 | 応募資格 | [必要な特定分野の資格、条件（学位等を含む。）、専門性等の詳細] 応募資格は、次に掲げるものとする。 1) 開発社会学・国際開発学等の分野で貧困問題に関わる質的調査を実施した経験があり、かつ政策志向的な研究を行ってきた者。 2) 博士号を取得していること。 3) 英語及び日本語で講義及び学生指導を行うことができる者 4) 担当分野又は関連分野において教育経験を有すること。 5) 国籍は問わない。ただし、校務及び学生指導に支障のない水準の日本語能力を有すること。 6) 国際開発海外実地研修及び国際開発国内実地研修を担当する意欲のある者 | |
| 7 | 待遇 | [採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] 東海国立大学機構職員就業規則その他本学関連諸規程の定めるところによる。 （東海国立大学機構職員就業規則） http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kisoku/act/print/print110010928.htm | |
| 8 | 応募期間 | 2021年2月9日～2021年3月31日（必着） | |
| 9 | 応募・選考結果通知 | [応募方法（提出書類の送付先）] 応募書類は下記の電子メールアドレスに添付ファイルで送ること。 1) 履歴書（A4サイズ。書式は自由。連絡できるE-mailアドレス・電話番号を記載する。性別の記載・写真の貼付は任意。） 2) 研究業績一覧。書式は自由。競争的資金の獲得実績がある場合は金額を含めて記載すること。 3) 主要著書・論文（英語の業績があることが望ましい）（合計3点）。 4) 国際開発研究科における教育・研究についての抱負（和文3000字程度）。 5) 仮に「開発途上国と貧困」という講義科目を担当するとした場合の講義シラバス案（講義の目的、講義の概要、15回の講義予定、教科書・参考書について、和文及び英文それぞれA4版1～2ページ）。 6) 推薦者2名の名前、電話番号、メールアドレス | |

| | | |
|----|-------|--|
| | | <p>(送付先) 伊東早苗 ito@gsid.nagoya-u.ac.jp (メールのタイトルは、「貧困と社会政策担当准教授応募書類」とすること)</p> <p>[選考内容 (選考方法, 採否の決定)]</p> <p>1) 第一次審査 書類審査 2) 第二次審査 面接 (2021年4月に国際開発研究科でオンライン又は対面で実施予定。英語による模擬授業を含む。) ※ 面接実施者については電話又はメールで通知する。面接の方法についてもその時に連絡する。</p> <p>[問合せ先]</p> <p>名古屋大学大学院国際開発研究科 伊東 早苗 E-mail: ito@gsid.nagoya-u.ac.jp ※ 電話による問合せには応じない。</p> |
| 10 | そ の 他 | <p>1) 提出された書類は本選考のためだけに使用し, 返却しない。 2) 面接に要する交通費は支給しない。 3) 名古屋大学は業績 (研究業績、教育業績、社会的貢献及び人物を含む。) の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用する。ただし、履歴書等に性別を記載しない場合であっても不利益が生じないよう配慮する。</p> |